

※ 5月上旬にお送りした「大草FAX通信」の続きになりますので、併せてご覧ください。

いま増えている胃腸の症状「機能性ディスペプシア」！

明らかな病気がないのに食後を中心に胃がもたれたり、みぞおちのあたりが痛むなどの症状を感じる場合があります。このような場合は、胃のはたらき（機能）が悪くなったことが原因の「機能性ディスペプシア」かもしれません。ディスペプシアとは、胃の痛みなどの不快な腹部の症状をさす医学用語です。以前は、「慢性胃炎」や「神経性胃炎」などと診断されていました。健診を受けた人の11～17%、医療機関にかかった人の44～53%が機能性ディスペプシアと診断されるほど、だれもがかかりやすい病気です。



胃は、ぜん動運動によって食べ物と胃液を混ぜ合わせ、消化したものを腸へと送り出します。しかし、この胃の動きが低下すると胃の中の食べ物をうまく運び出せなくなって「胃もたれ」が起こります。また、胃の伸縮性（やわらかさ）が低下して、食べ物が入ってきても胃が十分に広がらなくなると、少し食べただけで「満腹感」を感じてしまいます。胃酸に対して胃が過剰に反応する内臓知覚過敏になっていると、「みぞおちの痛み」「胸やけ」を感じます。

ストレスがきっかけになって発症することが多いのも、特徴のひとつです。つらい症状があると、それがストレスとなってさらに症状を悪化させるという悪循環に陥ってしまう場合があります。胃の不調がもとで不眠がちになるなど、日常生活に影響が出ることも少なくありません。

第3類医薬品

もたれ・食べ過ぎ・胃部不快感に「大草胃腸散・顆粒・錠剤」



- ・健胃作用のある生薬を主剤とし、これに消化に大切な働きをする胆汁エキスを加え、さらに胃酸中和作用をもつ沈降炭酸カルシウム、ケイ酸マグネシウムを加えた胃腸薬です。
- ・重曹（炭酸水素ナトリウム）は配合されていないので、血圧が高めで塩分の摂取を控えている方も服用できます。

胃痛・胸やけ・げっぷなどに「アルファ大草胃腸薬」

- ・弱った胃腸の働きを高める健胃生薬を主剤に、痛みをやわらげる鎮痛・鎮痙薬、過剰な胃酸を中和し胃粘膜を保護する制酸薬、消化薬、さらに胃腸内のガスを取り除く成分などを配合した胃腸薬です。胃痛や胸やけ、胃のもたれ、げっぷなどの不快な症状によく効きます。

第2類医薬品



◎ 大草のチラシその他のご案内

現在弊社では、チラシその他の販促品の見直しを進めていますが、現在利用可能なものは、弊社ホームページで確認・ダウンロード可能です。（掲載されていないものはご提供できません）

- 1・「大草薬品」と検索し、弊社ホームページを表示します。
- 2・トップページ左側のメニューの下から2番目「販売店様へのご案内」をクリック。
- 3・パスワード入力欄に「okusa1193」と入力し「Enter」をクリック。
- 4・FAX通信やなっとく情報のバックナンバー、チラシ、リーフレットなどがあり、クリックするとダウンロード可能です。内容は確認済みですので、印刷用原稿としてご利用ください。